

公益財団法人仁科記念財団  
第33回理事会議事録

1. 日時 令和2年10月28日(水曜日) 17時30分~18時00分

2. 形式 WEB会議(Zoomによる)

3. 出席 総数10名(理事現在数11名)

出席理事:

安藤恒也 家 泰弘 伊藤公孝 梶田隆章 勝村庸介  
小林 誠 佐々木 節 十倉好紀 藤川和男 矢野安重

以上10名

出席監事:

荒船次郎 鈴木増雄

以上2名

出席仁科記念賞選考委員:

安藤恒也委員長

以上1名

4. 議事の経過と結果

第33回理事会をWEB会議として開始するにあつて、出席(参加)理事、監事、仁科記念賞選考委員長、全員の音声および映像が共有されていることを確認した。

定刻、小林理事長が議長となり、出席理事数が定款第37条3項に定める定足数6名に達していることを確認の上、理事会開会を宣言した。

(1) 報告

議案審議に先立って、定款第28条第4項に則り、小林理事長、家常務理事、藤川常務理事、矢野常務理事より、本年度上半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞選考委員会の顧問、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。また、矢野常務理事より、2020年9月9日に行われた内閣府定期立ち入り検査での指示に対応して、①決算書で「仁科アジア賞」を定款第4条第1項で定める「褒賞等の授与」の事項に記載し直した、②遺贈寄附金について、決算申請時の内容を内閣府の指示に従って修正し、遺贈寄附金を「指定正味財産」の「受取寄附金」として「特定資産」の部に組み入れ直した、③仁科記念講演会等講師謝金規程を新たに制定する必要がある、旨報告があった。

(2) 議案審議

第1号議案：令和2年度仁科記念賞決定の件

安藤恒也仁科記念賞選考委員長より「令和2年度は26件の応募があり、慎重に審議した結果、①鹿野田一司氏 東京大学大学院工学系研究科教授：有機伝導体における強相関量子液体の研究、②仲澤和馬氏 岐阜大学教育学部および工学研究科シニア教授：原子核乾板を用いたダブルストレンジネス原子核の研究、の2件を受賞者として」と旨報告があり、審議の結果、全出席理事異議なく、本財団仁科記念賞規程第6条第2項に従い、選考委員会提案通り令和2年度仁科記念賞受賞者を決定した。

第2号議案：講師謝金規程制定の件

矢野常務理事より「2020年9月9日に行われた内閣府定期立ち入り検査で指示のあった講師謝金規程を案文の通り制定したい」と旨報告があり、審議の結果、全出席理事異議なく、案文通り「講師謝金規程」の制定を決定した。

以上で議事を終了し、本理事会の議事録署名人は定款第40条に則り理事長のほか荒船、鈴木両監事とすることとした後、議長、本理事会の終了を宣し閉会した。

以上の議事録が正確なものであることを証するため、議事録署名人、下記に署名捺印する。

理 事 長	小林 誠	
監 事	荒船 次郎	
監 事	鈴木 増雄	